

the **Design Farm** studio of architecture 



ベトナム ハノイのカフェにて

建築は 人が主役

学校創設の1992年、当時はバブルの末期でポストモダンの時代。おもしろおかしい造形的な建築がもてはやされていました。そんな頃に、普通の人々が普通で普通に日々を暮らせる家を創る、そんな建築家を育てたいとデザインファームはスタートしました。

20世紀はモノの時代。所有することがステータスでした。ものづくりは、作り手からの価値観やロジックの発信だったのです。21世紀はコトの時代。理念と共感の時代です。建築家もクライアントもみんな主役。提案し共感し、一緒にコトを楽しむのです。そこで必要なのは難解な建築論ではなく、自然な感覚と、それに対する共感です。ひとりひとりが持つ

ている種を今の時代の感覚、感性で育てること。デザインファームが一番大事にしていることです。

新型コロナの蔓延によって様々なジャンルで変化が起きました。建築に関わる大きな変化は「働き方とライフスタイルの見直し」でしょう。これは新たに生まれたものではなく、すでに動いていた流れが加速されたのです。この流れによる建築環境の見直しは、21世紀の建築をさらに進めていくでしょう。建築物を実現するには、感性を支える技術知識と、それを使いこなすテクニックも必要になります。詳細図を描いたり構造力学を学んだり、他にもたくさん知らなければいけないことがあります。デザインファームではややこしい話をかみ砕

き無駄のない授業で必要な知識を身につける、そのために様々な工夫を編み出しました。試験のための知識ではなく、設計の現場で使えるように。

こうして卒業生の多くが建築家たちから高い評価をもらえるようになりまし。個性を引き出し感性を磨けば、特別な才能がなくても建築家になれるのです。

人が主役の21世紀。「時代に必要とされる建築家」となる人材を育てること。これが私たちデザインファームの使命だと考えています。

デザインファーム建築設計スタジオ代表
牧野 徹

建築家になる。

卒業生インタビュー

シミズアトリエ級建築士事務所 主宰

清水 信人さん (1998年昼間部卒)

デザインファームの昼間部6期生である清水信人さん。独立して設計事務所を構え、十数年になる。戸建やリノベーションなど住宅を中心に設計活動が続けているが、最近は、レストランなどの店舗設計や、動物病院など特殊な建物の設計にも力を入れはじめている。

意匠設計の世界で仕事をして長い清水さんだが、いまだにこの仕事が好きと思えるのは、自分の想像したものが出来上がって目の前に現れた時だという。物体として目の前に現れるということだけではなく、人が使って馴染んできたことで「現れた」ことになる。そのため、竣工後は少し経って使われ始めた頃、実際に住んでいるところを見に行くようにしている。訪れると施主にも喜んでもらえて、長い間続けていても、やはり毎回それが純粋に嬉しいと感じるそうだ。

「こんなに楽しませてもらって、喜んでもらえて、それでお金がもらえるなんて、こんないい仕事ないですね。」と清水さん。

施主の要望や決められた条件の中だけで設計するのが単なる「設計者」だとすると、それにプラスαを与える、要望を聞くだけではなくて何かを提案していくのが「建築家」の仕事だと清水さんは考えている。

そして、そのプラスαの部分を楽しみながら仕事をしている様子が清水さんのお話から伺えた。

しかし、単に楽しいだけではなく大変なこともたくさんあるのが設計の仕事。

「どんな仕事でもそうだけど、手を抜くと必ず自分に返ってくる。クソ真面目にやっけてちよつとの失敗で済むくらい。いつもちゃんと気を張っていなければいけないですね。」

人が住む場所をつくる、というのはそれだけ大きな責任を背負って取り組まなければならないことなのだ。ましてスタッフではなく事務所の代表ともなると、その責任の重さは親と子くらい違う。責任が重いからこそ、出来上がった時の嬉しさや達成感とは他では味わえないものがあるという。

「建築家の仕事は、やったことがモノとして残るとてもわかりやすい仕事。そういう意味ではいい仕事だと思いますよ。」と最後に語った清水さん。建築家は、ものづくりを真剣に楽しめる人の仕事なのだろう。



清水さんが手がけた一戸建てのリノベーション。House in Shakujiimachi (2016年)



奥様でもある窓加さん(夜間部卒)とパートナーシップを組み活動している。



清水さんの仕事場。



吉田さんの担当物件。左・右上、入所当時担当した「富士見の家」。右下、2017年に担当した「大山の家」

就職

卒業生のほとんどが
建築家のアトリエへ就職します。

建築士ではなく、
建築家をめざす。



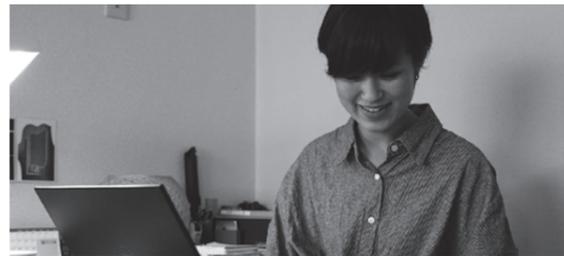
石井秀樹建築設計事務所にて。写真奥・岩崎祐二さん(2011年昼間部卒)。
手前・枝村英紀さん(2016年昼間部卒)

卒業後の就職先は、クラスにかかわらず主に「アトリエ」と呼ばれる建築家の設計事務所です。アトリエ事務所は、建築設計の「意匠」を専門とし、建物を統括的にデザインする役割を担っています。アトリエ事務所への就職は、建築業界の中でも非常に難関です。実力が重視される世界であり、建築士の免許を有していることよりも実務的な能力があるかどうか採用の判断基準となります。デザインファームは、アトリエで働くことを目的とした独自のカリキュラムと、創立から30年以上も作り上げてきた建築家とのネットワークで、初心者からでもアトリエへの就職を実現しています。また、アトリエで数年間、実務経験を積んだあと、建築家として独立する卒業生も増えてきました。

アトリエ 橙 スタッフ

吉田 美春さん (2014年土曜部卒)

「住んだ人が必ずファンになってしまう。」今、注目を集めている建築家、奥山裕生さんの元でスタッフを務める吉田美春さん。同時に何件ものプロジェクトが進行中、ほとんどの物件を吉田さんが担当している。アトリエでの仕事は今年で4年目(取材当時)になる吉田さん。最初の1、2年は先輩にサポートしてもらいながらの仕事だったそうだが、最近は自分で進めていけるところまでレベルアップしているという。担当スタッフの仕事は、実施設計をはじめ、現場での指示や確認申請など多岐に渡る。その中でも吉田さんが一番「ものづくりをしている」と感じるのが、施主と打ち合わせをしている時だそうです。



もともとプロダクトデザインを学んでいた吉田さん。大勢の人に届けるための工業デザインに対して、実際に使う相手と対話しながら作り上げていく、そういうものづくりがしたい、という思いから大学を卒業後、デザインファームの土曜部へ入学した。学校での課題もやりがいはあったが、実際に施主と関わる実務はもっと楽しい、と吉田さん。人との関わりが深い住宅設計の仕事は、まさに吉田さんのやりたかったものづくりそのもの。その楽しさ故「もう建築以外の仕事はできない」そうだ。



建築家からの評価

アトリエ 橙 代表

奥山 裕生さん

住宅設計の仕事は、お施主様との関わり方がとても深い仕事です。うちの事務所には、それを楽しめる人に来てほしいと思っていました。吉田さんはまさにそれができる人。まだ課題はあるけれど、お施主様からの評判も良いし、現場の職人さんからの評価も高い。土曜部で週に1回、2年間で戦力になるくらいまででできるというのはすごいな、と思います。これからもさらにレベルアップしてくれることを楽しみにしています。

就職実績一覧

隈研吾建築都市設計事務所 みかんぐみ 手塚建築事務所 フリーハンド：小井田設計室 石井秀樹建築設計事務所 伊礼智設計室 佐久間徹設計事務所 吉岡設計事務所 照井康穂建築設計事務所 横関和也＋中條雪ノジャムズ 遊空間設計室 NL デザイン設計室 武藤圭太郎建築設計事務所 オノデザイン建築設計室 山崎壮一建築設計事務所 植本計画デザイン 監設計室 ブランブラン (株) オープ建築造形計画 (株) GA 設計事務所 ラストイック建築研究所 (株) 前田工務店 パナソニック電工住建デザイングループ	堀部安嗣建築設計事務所 手塚建築研究所 伊丹潤建築研究所 渡辺明設計事務所 日影良孝建築アトリエ 日比生寛史建築計画研究所 城戸崎建築研究室 福井英晴建築設計事務所 坂ノ上一級建築士事務所 スタジオ宙 明野設計室 UAO ニコ設計室 ジオ・グラフィック・デザインラボ 竹内蔵 / HAL ARCHITECTS マツモトアンドアソシエイツ FAS 工房 (株) 東京計画研究所 (株) トリムタブ (株) 西脇一郎デザイン事務所 スマサガ不動産 (株) (株) たまき工務店 住友不動産リフォーム部門	(株) レーモンド設計事務所 吉田研介建築設計室 本間至 / プライシユティフト 二本柳慶一建築研究所 泉幸甫建築研究所 加藤武志建築設計室 川辺直哉建築設計事務所 アトリエ・天工人 佐野修建築設計事務所 田井勝馬建築設計工房 アトリエ橙 磯建築設計事務所 設計室ちあき space fabric アーキサイトメビウス 魚谷繁礼建築研究所 (株) ソキウス Designcafe TAP' S 一級建築士事務所 (株) 都市環境設計 株式会社トモニ (株) フジタ (上海) ヤマダマシナリーオフィス	妹島和世＋西沢立衛 / SANAA 熊倉洋介建築設計事務所 彦根建築設計事務所 石橋徳川建築設計所 川口通正建築研究所 荒木毅建築事務所 小野建築設計室 瀬野和広＋設計アトリエ 桂設計工房 松原正明建築設計室 村上建築設計室 U 建築設計室 アトリエ ODK 長谷川敬アトリエ 辻垣建築設計事務所 ネジアーキテクト エフ・デザイン設計事務所 (株) ローバ都市建築事務所 (株) 設計工房イー・ディー フリーダムアーキテクト 高松建設 (株) サンユー建設 (株) 他・順不同
---	---	--	--

独立・起業・経営

シミズアトリエ 村上建築設計室 M WORKS PROJECT 磯建築設計事務所 柿崎雄己建築設計事務所 梅沢工務店	アトリエ木の日建築スタイル ルミトラア一級建築士事務所 ピコグラム建築設計事務所 一級建築士事務所 しるべ 岩崎設計店 スマサガ不動産 (株)	宮嶋大輔設計室 横堀設計室 関口建築設計事務所 堀池瞬建築事務所 (株) トサクエン ジリキ E&P	須永豪・サバイバルデザイン ストライクデザイン 武川建築設計事務所 織田建築設計室 (株) 前田工務店 他・順不同
---	--	---	--

デザインファーム 建築設計スタジオの特徴

1. 就職先はアトリエ設計事務所
2. 人から想像する設計
3. ワクワクする気持ち
4. 卒業後も続く、仕事へのチャンス



就職先は アトリエ設計事務所

意匠・構造・設備の3つの分野に分かれる設計事務所。その中でも建物を統括的にデザインする「意匠設計」を担うのが建築家です。そして、建築家の主宰する設計事務所は、アトリエ事務所と呼ばれ、スタッフもより高いレベルのスキルを要求されます。デザインファームは、このアトリエ事務所への就職を目的としています。



アトリエで必要な 実務能力を身につける

デザインファームの授業は学問ではありません。卒業後すぐに建築家の設計事務所で活躍するために、あくまでも現場での実践力を重視したカリキュラムを組んでいます。講師には現役の建築家を迎え、授業内容も「アトリエではどうか」という視点で進めていきます。また、デザインファームのカリキュラムの最大の特徴は、建築の「意匠」に絞った内容で構成されていることです。建築とひとこと言っても、中には「構造」「設備」「意匠」など様々な分野があります。大学の建築学科などでは建築を総合的に幅広く学びますが、アトリエで働くためには、建築の意匠以外の分野に関しては最低限の知識があれば十分です。むしろ、意匠設計に必要な部分をより濃く学び、習得していることが求められます。アトリエで必要とされること、将来独立する際に必要なことを凝縮して2年間という短期間で身につけることができます。



写真左・村上建築設計室にて。森本由希乃さん（2014年昼間部卒） 写真右・日比生寛史建築計画研究所にて。鹿山晴美さん（2010年夜間部卒）

建築家・青木律典さんの主宰するデザインライフ設計室にて。写真大・須佐雄輝さん（2013年昼間部卒）。写真右上・いたるところにある建築模型。模型にも、提案用や検討用など様々な用途がある。写真右中・打ち合わせコーナーには建築関係の書籍や雑誌が並ぶ。写真右下・須佐さんのデスク。図面や仕様書などの作成や修正もスタッフの仕事。



建築家インタビュー

建築家ってどんな仕事ですか？

建築家の仕事は、楽しみかつ驚き喜ばせること

建築家・日比生 寛史さん（日比生寛史建築計画研究所）

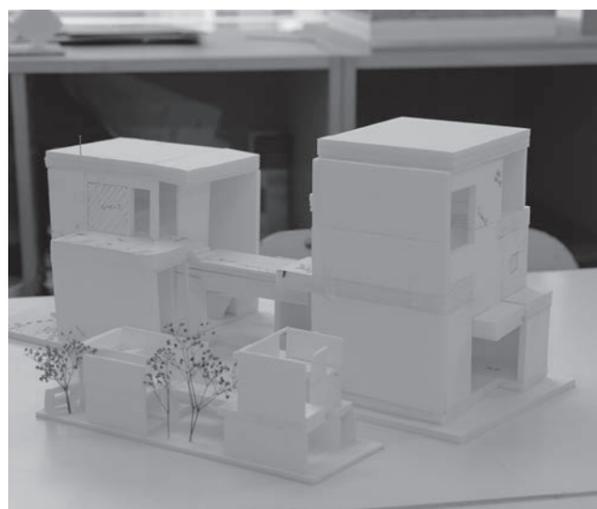
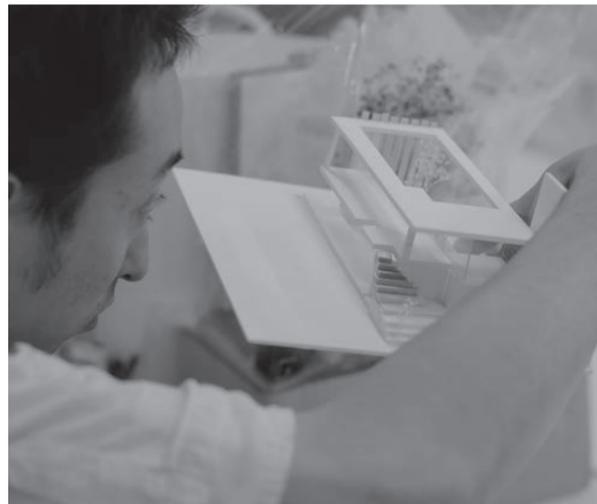
そもそも設計士と建築家は違います。住宅を例にとると、施主の求める要望通りに部屋を並べて技術的な図面を書く人を設計士と呼びます。一方、建築家とは、要望を満たすことは当然のこととして、建物が建つ敷地はどのような環境なのか、そこから何を感じるのか、敷地を読み取りつつ、住む家族にはどのような生活が相応しいのか、何を大事に考え、子供たちをどう育てたいのかなどと余計(?)なことまで考えを巡らせて、これからの住宅はどうあるべきなのかということまで踏み込んで、クライアントが予想も出来ないプラスαの提案をする人のことで、楽しみかつ驚き喜ばせることが仕事なのです。

そう考えると単純に技術者の仕事ではなく、少し大袈裟に言えば、思想家に近いといえます。建築家の仕事には、専門技術にとどまらない知識や経験、アイデアが必要であり非常に重要ですが、建築家は発明家ではありません。あえて言えば、何かに気付く発見家なのかもしれません。

日本の大学では建築の分野は理系に割り振られますが、海外の大学ではそうではありません。文学や音楽、コミュニケーション能力などの建築以外の知識が案外重要ですし、幅広い経験を活かせる仕事なのです。

人から想像する設計

デザインファームでは、建物を工学的な発想ではなく、空間を使う「人」の立場に立って設計する考え方を大事にしています。「住宅だからこう」と決められた枠の中で考えるのではなく、まずはその空間にいる人、そこで起こる出来事を想像する。そして、その出来事を形にするための表現方法を学びます。



人から想像するために、図面よりも模型を使って立体的に空間を把握しながら設計することを心がけています。授業の中では、常に模型を使って実際に使う人の目線で空間をどう構成するかを検討します。何度も検討を重ねるので模型はいつもつぎはぎだらけでボロボロになります。最後の発表の際に綺麗に作り直し、発表も模型で行います。



完成模型には、そこで起こる出来事がわかりやすいよう、人の添景や家具などをたくさん入れて設計の内容を伝えます。まずは模型を使った設計のプレゼンテーションを行います。2年生になるとポートフォリオ（作品集）として紙にまとめたものを使って、実際の面接などで説明することを意識したプレゼン方法も指導します。

初心者からでもめざせる理由

建築と聞くと、まず理系の仕事だと考える人が多いでしょう。しかしデザインファームでは、「数学が苦手でも、センスがほどほどでも、不器用でも、30歳からでも、建築家になれる」とうたい、多くの卒業生がそれを証明してくれています。

建築家の仕事は、住宅であれ公共施設であれ、空間に出来事を生む仕事です。その出来事とは、住宅であれば10年20年それ以上の長い月日を積み重ねて家族の関係にまで影響します。レストランやカフェであれば、その空間で過ごすひとときが、利用した人の一生の思い出として記憶に残るかもしれません。そんなことをたくさん想像して、素敵な出来事が起こるように形で表現する。一言で理系とは言い難い仕事なのです。もちろん形にするためには計算も必要ですし、形を他の人に理解してもらうためにはある程度の模型の技術も必要です。でも、それは訓練で習得することができます。それよりも、たくさんの人生経験を積んで、建築以外のことにも興味を持って、建築家としての引き出しを増やすことが大事だと考えています。たったひとつ、建築家をめざすために必要なのは「建築が好き」という気持ちです。

ワクワクする気持ち

建築空間を作り上げる作業にワクワクすること、デザインファームが授業の中で大切にしていることです。ワクワクしなければ楽しくないし、楽しくなければ続かないのが建築家の仕事。設計課題をはじめ、スライドの授業や合宿を通して、「建築っておもしろい」「自分の中にある感性を掘り起こすことにワクワクする」そう思える授業を行っています。

個性を伸ばす

学生の発想は十人十色。学校で設計をはじめると、同じ条件で設計しているはずなのに隣を見ると全く違う形ができていて、ということが多々あります。その個性は、一人ひとりがこれまでの人生の中で築き上げてきた大切な感性であり、プロになる際には大きな武器となります。デザインファームでは、一人ひとり違うその感性や発想にとことんつきあい、向き合い、形として表現できるよう指導をしています。個性を大事にするためには、まず自分自身のことをよく知らなければなりません。「自分はどんなことにワクワクするのか」、「どんなことに反応するのか」例えば、海外合宿ではそういったことを探りにアジアやヨーロッパの国々を旅します。また、自分の価値観や考えを人に伝えることでより自分のことが見えてくる、という事から、設計課題での発表の機会を大事にしています。時には自分の発想に自信が持てず、先に進めないこともあります。そんな気持ちにも共感し、講師スタッフが一丸となってサポートします。

年に1回の海外合宿（希望者のみ）。ここでの刺激が作品づくりへ大きく影響する学生も多く、単なる建築見学ではなく、自分自身に落とし込む作業を大事にしています。

卒業後も続く、 仕事へのチャンス

卒業して終わりではなく、卒業後の次のステップ、そして将来独立してからも、仕事につながるきっかけを提供しています。ポイントは30年以上もの間で広がったアトリエ界でのネットワーク。建築家との人脈や、クラスや年代を越えた卒業生同士のつながりが新たな仕事へのチャンスを生みます。

創立30年以上の人脈

デザインファームが開校してから30年以上が経ち、アトリエで「デザインファーム」といえば誰かしらが一度は関わっている、というくらい今ではたくさんの卒業生や建築家とのつながりができました。卒業生が残してくれた実績や、これまで広げてきた様々な人とのネットワークのおかげで、学内には求人をはじめ、アトリエに関する情報が常に溢れています。この豊富な人脈を卒業後も活用できるような取り組みも行っています。



建築家の講演会をはじめ、卒業後も様々な学内イベントに卒業生を招待しています。何もなくても気軽に学校に相談にいける、アットホームな雰囲気も大切にしています。

中国・南靖土楼

建築家・伊礼智さん講演会

クラス構成

いずれのクラスも少人数制で、アトリエ設計事務所で働くことを目的とした実践重視のカリキュラムを組んでいます。クラス名に「スタジオ」と名付けたのは、クラスメイトと向き合い講師と向き合い、実際に手を動かして創り出す授業を行っているからです。各スタジオでは、プロの建築家による徹底した個別指導により、建物の構想から模型製作、製図、プレゼンテーションまで、プロの建築家と同じ手順で建築設計の全工程をシュミレート。建築家に必要な知識、想像力、感性を自然と体得していきます。ご自身が将来めざす働き方や、希望する学習スタイルに合わせて最適なクラスを選んでください。

意匠設計を、じっくり深く学ぶ

初心者対象

昼間部 建築設計スタジオ

定員	18名
入学資格	20歳以上（建築経験の有無、学歴は問いません）
授業期間	2年間
授業時間	月曜日～金曜日 10:00～16:00
授業料	募集要項をご覧ください

建築の意匠設計分野への就職を目指す初心者の方が対象のクラスです。初心者対象クラスのため、建築家に必要な知識、技術を基礎から学びます。一つの課題にじっくり時間をかけ、一人の建築家としてどのような設計をしていくか、自分自身と向き合いながら実務に繋がる作品づくりを行います。

働きながら、意匠設計を学ぶ

初心者対象

夜間部 建築設計スタジオ

定員	18名
入学資格	20歳以上（建築経験の有無、学歴は問いません）
授業期間	2年間
授業時間	月曜日・木曜日 19:30～21:40
授業料	募集要項をご覧ください

建築の意匠設計分野への就職を目指す初心者の方が対象のクラスです。初心者対象クラスのため、建築家に必要な知識、技術を基礎から学びます。働きながら、またはダブルスクールで通えるのが特徴です。夜間部と土曜部は同じカリキュラムで進むため、相互に振替えて授業を受けることができます。

初心者対象

土曜部 建築設計スタジオ

定員	18名
入学資格	20歳以上（建築経験の有無、学歴は問いません）
授業期間	2年間
授業時間	土曜日 13:00～17:30
授業料	募集要項をご覧ください

設計力を身につけて今の仕事に活かす

経験者対象

意匠設計力養成 スタジオ

定員	10名
入学資格	20歳以上・建築の基礎知識がある方
授業期間	1年間(年2回開講)
授業時間	隔週日曜日 13:00～18:00
授業料	募集要項をご覧ください

建築関係の仕事に携わったことのある方、または勉強したことのある経験者の方が対象のクラスです。建築の技術的な授業（構造、法規など）は行わず、計画課題のみを行います。意匠設計力を身につけて今の仕事に活かす、または建築の施工や販売といった分野から意匠設計への転職を目指すことができます。



初心者対象

昼間部 建築設計スタジオ

意匠設計を、じっくり深く学ぶ

昼間部建築設計スタジオは、建築の意匠設計分野への就職を目指す初心者の方が対象のクラスです。

建築家の主宰するアトリエ設計事務所が必要な、建築の技術・知識を習得し、そして後に一人の建築家として独立する際にも役立つ建築設計の考え方を身につけます。作品づくりの中で、2年間じっくりと建築や自分自身と向き合うことで、よりレベルの高い建築設計の考え方や技術を磨くことができるカリキュラムを組んでいます。

昼間部 建築設計スタジオ 概要

※年度によって変更になる場合があります。詳しくは次年度の募集要項をご確認ください。

定員	18名
入学資格	20歳以上（建築経験の有無、学歴は問いません）
授業期間	2年間
開講月	4月
授業時間	月曜日～金曜日 10:00～16:00
授業料	募集要項をご覧ください

クラスの特徴

アトリエで働く実務能力を身につける

アトリエ事務所に必要な知識や技術を身につけます。建築は図面上で出来上がるのではなく必ず立体として出来上がるものです。立体を把握する能力を養い、図面や模型で表現するテクニックを身につけます。

建築家としての考え方（スタンス）の基礎を構築する

一つの課題にじっくり時間をかけて取り組むことで、一人ひとりが持つ個性を建築の中で表現する力を養います。一人の表現者として自分のスタンスを自覚し、整理しコントロールする力は、将来建築家として独立する際にも役立ちます。

講師は現役の建築家

デザインファームの講師は全員が現役の建築家です。そして、意匠建築のプロであるとともに教師のプロでもあります。学生に結果を出させる能力のある建築家が本校の講師陣です。

集中して学べる環境

昼間部の2年生になると自分だけの作業スペースを持つ事ができます。授業時間以外もじっくりと作業できる環境で、集中して課題に取り組むことができます。

平均年齢は27歳

学生の平均年齢は20代後半です。様々な経歴の仲間が持つ様々な価値観に触れることで、設計内容をより深めることができます。

カリキュラム

入学直後は建築の基礎的な図面や模型の作り方から学びます。その後、設計課題を通して空間の作り方、技術課題を通してより実践的なテクニックを習得します。課題は徐々にレベルアップしていき、最終的には作品を就職活動に利用できるポートフォリオ（作品集）としてまとめあげます。

■ 基本練習



POINT・初心者からでも大丈夫

入学して最初の課題「基本練習」で、建築の基本的な図面の読み方、描き方、模型の作り方を学びます。線の描き方、カッターの持ち方など、建築を学ぶことが初めての方のために、基礎の基礎から丁寧に指導します。

■ 計画課題



POINT・センスより積み上げが大事

基本の住宅設計から徐々に規模の大きな建築や条件の難しい課題に取り組みます。自分の経験と照らし合わせながら設計力を積み上げ、また設計を通して様々な価値観に触れ、内容を深めていくことができます。

■ 技術課題



POINT・実務ですぐ必要な知識・技術

自分の考えた建築を実現するために必要な、技術的手段（構造や法規、設備など）を学びます。設計事務所のスタッフとして必要なものに絞り、就職後すぐに担当できるレベルの内容を身につけます。

■ 卒業設計・ポートフォリオ制作



POINT・就職活動に使える成果物

卒業設計では、2年間で確立してきた自分の考えを形で表現します。また、2年間制作してきた課題を、ポートフォリオ（作品集）としてまとめ、現役の建築家たちに採用の目線で評価してもらいます。

	基本練習	計画課題	技術課題	その他
1年生	<ul style="list-style-type: none"> 線の練習 模型の練習 基本図面の描き方 スケッチから考える授業 基本の2階建て住宅 	<ul style="list-style-type: none"> 2階建住宅（木造） 店舗併用住宅（木造） 実施設計用2階建住宅（木造） コートハウス（RC造） <p>【短期課題】 相棒の空間 / 光の空間 音楽の空間 / 好きな建築探し etc</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1/100 基本図 軸組模型 木構造（伏図・軸組図） 構造力学Ⅰ 建築/パース・立体図法 平面詳細図（木造） 矩計図（木造） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本建築史 / 西洋建築史 近代建築史 キャリア戦略
2年生		<ul style="list-style-type: none"> 住み継ぐ家（木造） 小さな集合住宅 狭小住宅 卒業設計 <p>【短期課題】 相棒の空間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2階建住宅実施設計図集制作 CAD 建築法規 構造力学Ⅱ 平面詳細図（RC） 建築材料 建築設備 建築環境 	<ul style="list-style-type: none"> 日本建築史 / 西洋建築史 近代建築史 キャリア戦略 就職用ポートフォリオ制作

※年度によって内容を変更する場合があります。



クラスの特徴

アトリエで働く実務能力を身につける

アトリエ事務所に必要な知識や技術を身につけます。建築は図面上で出来上がるのではなく必ず立体として出来上がるものです。立体を把握する能力を養い、図面や模型で表現するテクニックを身につけます。

短期間で実務に必要な技術と知識を習得する

夜間部・土曜部では、限られた履修期間で建築設計の実務に必要な知識・技術を効果的に体得できるよう、授業の方法や教材にも工夫を凝らしています。そのため、最小限の学習で建築設計の仕事に就くことができます。

自由に振替可能。仕事が忙しくても通いやすい

夜間部と土曜部は同じカリキュラムで授業を進めていきます。急な残業や休日出勤などがあっても、自由にもう一方のクラスの授業へ振替が可能なので無理なく授業を受けることができます。

様々な年齢・経歴の仲間と出会える

夜間部・土曜部は特に学生の年齢層が幅広く、社会人の方をはじめ、現役学生、主婦など様々な経歴の方が入学されます。普段あまり接することのない立場の人たちと意見を交わしながら設計することで、自身の設計の幅が広がり、お互いの設計力の向上につなげることができます。

カリキュラム

入学直後は建築の基礎的な図面や模型の作り方から学びます。その後、設計課題を通して空間の作り方、技術課題を通してより実践的なテクニックを習得します。課題は徐々にレベルアップしていき、最終的には作品を就職活動に利用できるポートフォリオ(作品集)としてまとめあげます。

■ 基本練習



POINT・初心者からでも大丈夫

入学して最初の課題「基本練習」で、建築の基本的な図面の読み方、描き方、模型の作り方を学びます。線の描き方、カッターの持ち方など、建築を学ぶことが初めての方のために、基礎の基礎から丁寧に指導します。

■ 計画課題



POINT・センスより積み上げが大事

基本の住宅設計から徐々に規模の大きな建築や条件の難しい課題に取り組みます。自分の経験と照らし合わせながら設計力を積み上げ、また設計を通して様々な価値観に触れ、内容を深めていくことができます。

■ 技術課題



POINT・実務ですぐ必要な知識・技術

自分の考えた建築を実現するために必要な、技術的手段(構造や法規、設備など)を学びます。設計事務所のスタッフとして必要なものに絞り、就職後すぐに担当できるレベルの内容を身につけます。

■ ポートフォリオ制作



POINT・就職活動に使える成果物

2年間の最後に取り組む設計課題を、就職活動に必要なポートフォリオ(作品集)としてまとめます。そのまま就職活動にも使える成果物が授業内で完成します。

初心者対象

夜間部・土曜部 建築設計スタジオ

働きながら、意匠設計を学ぶ

夜間部・土曜部建築設計スタジオは、意匠系設計事務所への就職を目指す初心者の方が対象のクラスです。

建築初心者からアトリエ事務所への就職に必要な技術・知識・設計力を習得します。限られた履修期間で知識・技術を効果的に体得できるよう、授業の方法や教材にも工夫を凝らしているため、最小限の学習で建築設計の仕事に就くことができます。通いやすいスケジュールで、ダブルスクールや働きながら通う方が多いクラスです。

■ 夜間部・土曜部 建築設計スタジオ 概要

※年度によって変更になる場合があります。詳しくは次年度の募集要項をご確認ください。

定員	各クラス18名
入学資格	20歳以上(建築経験の有無、学歴は問いません)
授業期間	2年間
開講月	4月
授業時間	夜間部/月曜日・木曜日 19:30~21:40 土曜部/土曜日 13:00~17:30
授業料	募集要項をご覧ください

基本練習

1年生	<ul style="list-style-type: none"> 線の練習 模型の練習 基本図面の描き方
-----	---

計画課題

1年生	<ul style="list-style-type: none"> 平屋住宅 2階建住宅(木造)Ⅰ 2階建住宅(木造)Ⅱ
-----	--

技術課題

1年生	<ul style="list-style-type: none"> 1/100基本図 木構造(伏図・軸組図) 構造力学Ⅰ 建築パース・立体図法 平面詳細図(木造)
-----	---

その他

1年生	<ul style="list-style-type: none"> 【短期課題】光の空間 etc キャリア戦略
-----	--

2年生	<ul style="list-style-type: none"> 店舗併用住宅(木造) コートハウス(RC造) 住み継ぐ家(木造) 小さな集合住宅(RC造) 彫刻ギャラリー(RC造)
-----	--

2年生	<ul style="list-style-type: none"> 選択課題
-----	--

2年生	<ul style="list-style-type: none"> 矩計図(木造)・建築設備 CAD・建築環境 詳細図(CAD)・家具詳細 建築法規 構造力学Ⅱ 建築材料
-----	--

2年生	<ul style="list-style-type: none"> キャリア戦略 就活用ポートフォリオ制作
-----	--

※年度によって内容を変更する場合があります。



経験者対象

意匠設計力養成 スタジオ

設計力を身につけて今の仕事に活かす

意匠設計力養成スタジオは、建築関係の仕事に携わったことのある方、または勉強したことのある経験者の方が対象のクラスです。建築の基礎知識や構造、法規といった技術的な授業は行わず、プランニングだけを集中的に学びます。

講師は意匠設計のプロである現役の建築家。個別に課題を設定するので「現場で役立つ意匠設計力を身につける」「意匠設計の分野へ転職するためのポートフォリオを制作する」など個人のスキルや目的にあわせた利用が可能です。

意匠設計力養成 スタジオ 概要

※年度によって変更になる場合があります。詳しくは次年度の募集要項をご確認ください。

定員	10名
入学資格	20歳以上・建築の基礎知識がある方(1/100基本図面の読み描きができる方)
授業期間	1年間
開講月	4月/10月
授業時間	隔週日曜日 13:00~18:00
授業料	募集要項をご覧ください

こんな方におすすめのクラスです

建築の施工や販売の仕事に就いている方

工務店勤務または経営をしているが、設計の依頼もあり、お客様に喜ばれる提案をしたい。

一応間取りは描けるが、どういう間取りが「良いプラン」なのかわからない。

設計事務所に勤めている方

意匠系の設計事務所に転職するためのポートフォリオを制作したい。

既に独立しているが、意匠系の仕事にもっと力を入れたい。

建築士の資格をお持ちの方

建築士の資格は持っているが、自分の設計に自信が持てない。

とりあえず資格は取ったけど設計の仕事をほとんどしたことがない。

建築の勉強をしたことのある方

学校で建築の勉強をしていたが別の仕事に就き、もう一度チャレンジしてみたい。

在学中にもう少し真剣に学べばよかったと後悔している。

上記以外のお悩みや目標でも、最低限の建築の知識(1/100の平面図・断面図・立面図等の読み描きができる)があれば、どなたでも受講できます。

カリキュラム

1年間で2つの設計課題に取り組みます。課題の内容は、現在のレベルや受講後の目標をお聞きした上で一人ひとりにあったものを出題します。出題後は、講師とエスキースを重ね、最後はクラス全体で発表講評会を行います。また、現役建築家の講師が手がけた実例を紹介するミニ講義の時間も設けています。

■ チュートリアル (個別面談・出題)



まずは、講師との個別面談で現在のレベルや目標をお伺いし、課題内容や最終的な成果物と一緒に決めていきます。

■ エスキース



授業の日は、考えてきたプランのスケッチや模型、図面を使って講師とエスキースを行い、次回の授業日までに自宅で設計作業を進めます。

■ 中間発表



ある程度プランがまとまってきたら、クラスで中間発表を行います。ここでクラスメイトからもさまざまな意見をもらい、自分の設計を客観的な視点で捉えます。

■ 発表講評会



中間発表での意見を受けて、さらにエスキースを進め、最後は図面、模型を使ってクラスで発表講評会を行います。

前期 (全12回) / 第1課題				
面談・出題	ミニ講義		中間発表	発表講評会
	エスキース	エスキース		

後期 (全12回) / 第2課題				
面談・出題	ミニ講義		中間発表	発表講評会
	エスキース	エスキース		

※年度によって内容を変更する場合があります。

卒業生の声



建築設計事務所 RENGÉ 代表
工藤 健志さん

以前は現場監理や積算など、現場に近い仕事をしていましたが、今は住宅設計をメインにしています。それまで「間取りを作ってプランにする」という手順で設計していたのに対して、この学校ではとにかく「模型を作って立体的に空間を考えていく」ということを第一に教えていただきました。空間を設計するという事に本当に興味を持つことができたし、なによりも「建築が楽しい」と思えたのが大きな変化だったと思います。

課外授業

見て、感じて、聴いて、
自分の設計をより深める。

デザインファームでは、様々な課外授業を通してより設計を深めていけるような取り組みをしています。どの課外授業にも共通するのは、ここで受け止めたものを必ず一度自分の中で咀嚼できるように指導している、ということ。建築や街並みを見て、建築家やクラスメイト、OBと話して、それに対して「自分はどう考えるか」という部分を非常に大切にしています。受け身で流すのではなく、受け止めることで自身の設計に反映させるのが課外授業の役割です。



国内合宿

年に1度、1泊2日から2泊3日の日程で、主に美術館や公共施設を見学してまわります。(昼間部：必修、夜間部・土曜部：自由参加、意匠設計力養成スタジオ：希望者は参加可)

これまでの見学先：

- 吉村順三「八ヶ岳高原音楽堂」
- 谷口吉生「清春白樺美術館」
- 伊東豊雄「せんだいメディアテーク」
- 平田晃久「太田市美術館・図書館」
- 宿場町「奈良井」「木曾」他

海外合宿

アジアやヨーロッパを中心とした海外合宿を、年に1度実施しています。(全クラス在校生・卒業生：自由参加)

これまでの見学先：

- 中国（麗江・鳳凰古鎮・西塘・昆明 他）
- ベトナム（ハノイ・ホイアン・フエ・ダナン 他）
- ラオス・カンボジア
- スリランカ
- イタリア（ローマ・フィレンツェ・シエナ 他）
- フランス（パリ・マルセイユ・ストラスブール 他）

OBと語る

設計の仕事に就いた卒業生を招いて、卒業してから現在に至るまでの経験や、現在の仕事について、就職活動についてなどをざっくばらんに語っていただくイベントを年に1度開催しています。(昼間部・夜間部・土曜部 在校生対象)

建築家講演会

第一線で活躍している建築家の方々の生の声を聴くために、学内で講演会を開催しています。(全クラス在校生対象)

これまで講演した建築家（敬称略）：

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 川口通正（川口通正建築研究所） | 関本竜太（リオタデザイン） |
| 石井秀樹（石井秀樹建築設計事務所） | 武井誠（武井誠+鍋島千恵/TNA） |
| 町山青二（青士） | 山本卓郎（山本卓郎建築設計事務所） |
| 伊礼智（伊礼智設計室） | 加藤武志（加藤武志建築設計室） |
| 奥山裕生（アトリエ橙） | 荒木毅（荒木毅建築事務所） |
| 村上太一・村上春奈（村上建築設計室） | 手嶋保（手嶋保建築事務所） |
| 田井勝馬（田井勝馬建築設計工房） | 小高由紀子（アトリエODK） |
| 堀部安嗣（堀部安嗣建築設計事務所） | |



国内合宿・八ヶ岳高原音楽堂



建築家・加藤武志さん講演会



OBと語る



ふつうの「あなた」が建築家になるために。

それは特別な才能でもなく、理系の成績でもなく、絵を描くテクニックでもなく、飛び抜けたセンスでもない。

窓から差し込む光に清々しさを覚えて昨日までの自分をリセットしたり、大切な人と過ごす時間に家の暖かさを感じたり、ケンカ後の気まずい思いを抱えたまま壁を見つめたり。そんなふつうの感覚、ふつうの感情を持つ人が作る建築は、きっと楽しくてあったかくて、ワクワクしたり新しい発見があったり、「建築」という舞台で起きる日常の小さなできごととは、やがてその人の大切な思い出になるでしょう。

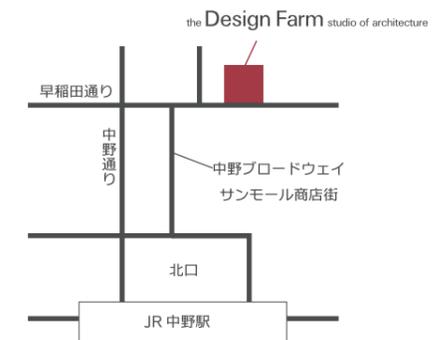
建築は「人」を包む「器」であるはず。 「人」を包み「自然」と寄り添い「社会」の中で共に成長していく。それが私たちの考える建築です。

奇抜な発想や難解な建築論は必要なく、大切なのは「ふつう」なこと。

誰のための建築？ 何のための建築？ まぎれもなく、それは「人」です。

建築は「人」が主役。

私たちは「人」を大切に作る建築家を育てたい。



the Design Farm studio of architecture 

デザインファーム 建築設計スタジオ 〒165-0026 東京都中野区新井 1-6-5 エサレス中野 2F
tel 03-3387-0595 Email:df@designfarm.org URL:https://www.designfarm.org/

